

5章 計画実現に向けて

5-1 推進体制

みどりの将来像「子どもたちが大人になっても暮らしたいと思える「湧き水」と「みどり」のまち」を実現するためには、市民、市民団体、企業、教育機関、行政がそれぞれの役割を認識し、協働して取組を推進することが必要です。



計画の推進体制

1章
みどりの
基本計画について

2章
和光市のみどりの
現状と課題

3章
みどりの
将来像と目標

4章
将来像の実現に
向けた取組

5章
計画実現に向けて

資料編

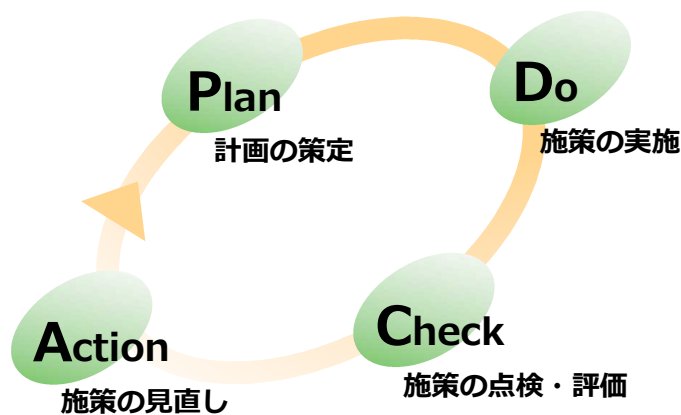


5-2 進捗管理

本計画を推進するため、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）からなる「PDCA サイクル」に基づき、進捗管理を実施します。

施策の進捗管理にあたっては、毎年度施策の進捗状況の確認を行い、市ホームページ等を通じて広く市民に公表します。

また、みどりの専門家、関係団体、市民などから組織される「（仮称）和光すみどりの委員会」を新たに設置し、概ね5年に1度、施策の進捗状況やみどりの現状を把握し、様々な視点で検証や評価を行います。さらに、計画の中間年となる令和13年（2031年）には中間見直しを行います。



PDCA サイクルによる進捗管理

管理	年度	R 3年 (2021)	R 4年 (2022)	R 5年 (2023)	R 6年 (2024)	R 7年 (2025)	R 8年 (2026)	R 9年 (2027)	R 10年 (2028)	R 11年 (2029)	R 12年 (2030)	R 13年 (2031)
施策の進捗状況の 確認・公表	計画 策定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	中間 見直し
施策の検証・評価						●						

	R 14年 (2032)	R 15年 (2033)	R 16年 (2034)	R 17年 (2035)	R 18年 (2036)	R 19年 (2037)	R 20年 (2038)	R 21年 (2039)	R 22年 (2040)	R 23年 (2041)
施策の進捗状況の 確認・公表	●	●	●	●	●	●	●	●	●	新計 画 策定
施策の検証・評価					●					

施策の進捗管理と計画期間のスケジュール





上谷津ふれあいの森